

2024年12月 5 日

各 位

会 社 名：ウインテスト株式会社
(コード：6721 東証スタンダード)
代表者名：代表取締役 姜 輝
問合せ先：専務取締役 樋口 真康
(TEL：045-317-7888)

次世代ディスプレイ・ドライバIC検査装置 「WTS-577SX」 セミコン2024出展のお知らせ

この度、ウインテスト株式会社（横浜市西区）は、次世代ディスプレイ・ドライバIC検査装置WTS-577SXを東京有明ビッグサイトにおいて、2024年12月11日から3日間開催される半導体業界最大の展示会、セミコン2024に出展いたします。出展するブース番号は東第7ホール・ブース番号：7531となります。

1. 「ディスプレイ・ドライバIC」について

ディスプレイ・ドライバICは、スマートフォン、タブレット、パソコンのディスプレイやTVの画面に搭載されており、ディスプレイに画像を表示するのに重要な役割を持ったICです。また近年ではタッチパネルのセンサー機能を併せ持つICも台頭してきています。ディスプレイには大きく分けてLCDパネルと有機ELパネルがありますが、WTS-577SXはその両方のICを検査することができます。

2. WTS-577SXの特徴

既存システムWTS-577SRをベースとし検査対象のICを駆動するデジタルパターンのスピードを820メガビット・パーセカンド（メガは10の6乗で、1メガは100万となる。ビットパーセカンドは1秒間に送れるデジタル信号を表す）から2倍の1.6ギガビット・パーセカンド（ギガは10の9乗で、1ギガは10億となる）まで高速化、グレースケールデータの取り込みスピードと取込み精度に大幅な改良を加えました。WTS-577SXは、従来から定評のあるユーザ・インターフェースの使いやすい機能を保ちながら、さらに半導体検査プログラムの開発者そして、量産現場において更に使いやすいデバッグ機能を追加（デバッグとは検査プログラムの改変や効率の改善を現場エンジニアが行う作業）、することで、よりユーザフレンドリーで使いやすさを向上させました。

3. 今期通期業績に与える影響について

今期通期業績への影響は、特にございません。

※本ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報であり、諸般の事情により予告なく変更されることがあります。

以上

Appendix
製品のご紹介



次世代ディスプレイ・ドライバIC検査装置 WTS-577SX

主要諸元：

I/O Board	1.6Gbps, 256Pin 最大512Pin
LCD Board	MAX 2304pin、Per-pin digitizer、Per-pin comparator
超高速Driver	4Gbps
同時測定数	32個
消費電力	8KW 低消費電力を実現

以上